明治時代に一度廃城になったが、福知山市民の熱意と寄付によって1986（昭和61）年に再建された。

明智光秀

今も多くの謎に包まれた織田家の礎を支えた名将。

美濃国（現在の岐阜県）守護・土岐氏の一族の出身といわれる明智光秀は、朝倉家を経て足利義昭・織田信長に両属し、義昭の上洛に貢献。その後、丹波・丹後平定などの功績を挙げ、信長から丹波一国を与えられ織田家中随一の重臣へと出世した。しかし、1582（天正10）年、本能寺に泊まっていた信長を突如襲撃して自刃させ、二条御所に立てこもった嫡男・信忠も倒した。最期は、山崎の合戦で秀吉に敗れた後、小栗栖（京都市伏見区）で落ち武者狩りに遭い落命したと伝わる。よく分かっていない出生地や生年。光秀の武功を認めていた主君信長を、なぜ討ったのか。今も多くの謎に包まれている。

明智光秀肖像（本徳寺蔵）

福知山城

光秀、丹波平定。築城とまち整備に才覚を発揮。

約4年の歳月をかけて丹波平定を成し遂げた光秀。領主として着手したのが、城の整備だった。福知山市にある「福知山城」も、光秀が築城を手掛けた城の一つ。元々この場所には中世城郭の横山城があったが、光秀は由良川と土師川が合流する台地という天然の要害を生かした城郭を築き、名も「福智山城」と改めた。光秀は、築城だけでなくまちの整備にもその才覚を発揮。当時、たびたび氾濫していた由良川を改修し、大堤防を築造した。この大堤防は「明智藪」と呼ばれ、現在も市民に親しまれている。また、地子銭（宅地税）の免除をしたり商業を活性化させるなど、現在につながるまちの発展の基礎を築いている。

天王山を望む「天王山夢ほたる公園」に立つ石碑。

山崎合戦古戦場跡

光秀×秀吉。「天王山」天下分け目の戦いの地。

本能寺で信長を討つことに成功した光秀。しかし、遠く備中高松城（岡山市）で毛利軍と対峙していた羽柴（豊臣）秀吉が、わずか10日前後で京都に迫ろうとは夢にも思わなかっただろう。光秀は、盟友・細川藤孝や親交の深かった筒井順慶など近隣の諸将を味方に引き入れることに失敗。山崎の合戦が始まるころには、明智軍約1万の兵に対し羽柴軍の兵力は約4万と、圧倒的な勢力差となり、「天下分け目」の天王山を背後にした合戦は、羽柴軍が勝利する。主戦場となった大山崎町には、古戦場跡を示す碑をはじめ、境野1号墳に設けたとされる光秀の本陣跡や秀吉が本陣としたと伝わる宝積寺（ほうしゃくじ）など、多くの史跡が点在する。

［京の光秀あれこれ］

華麗にして劇的

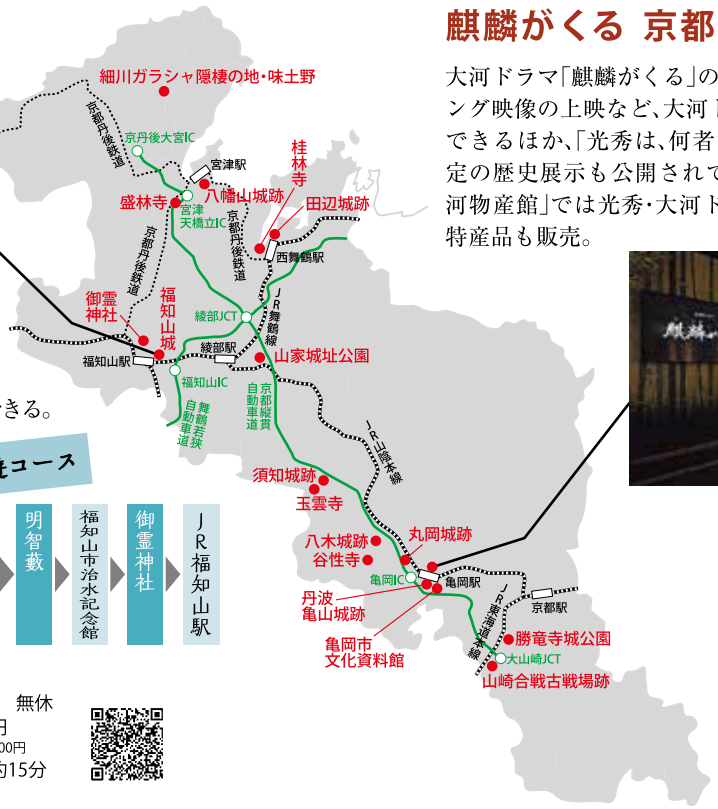
「本能寺の変」で織田信長を討った明智光秀。
その前半生はよく分かっていない。
京都と山陰地方を結ぶ要衝である丹波国を攻略。
築城やまちづくりなどに才覚を発揮し、多くの功績を残す。
ゆかりのある史跡が数多く残る京都。
謎多き光秀の
知られざる側面に迫る。

福知山光秀ミュージアム

大河ドラマの時代考証を手掛ける小和田哲男氏監修の「明智光秀の生涯と丹波・福知山」のパネルや映像展示のほか、光秀が定めた軍規「家中軍法」などの一級資料が年に10回入れ替わり公開。貴重な資料とともに福知山の歴史を紐解き、光秀の軌跡をたどることができる。

おすすめ周遊コース
JR福知山駅 → 福知山城・ミュージアム → ゆらのガーデン → 明智藪 → 福知山市治水記念館 → 御霊神社 → JR福知山駅

京都府福知山市字岡ノ32-64　TEL.0773-22-1010
9:00～17:00（最終入館16:30、2020/1/11～2021/1/11開館）　無休
入場料 / 大人（高校生以上）500円・こども（小・中学生）250円
※福知山城とのセット券がオススメ！大人（高校生以上）700円・こども（小・中学生）300円
JR京都駅から福知山駅（特急利用で約1時間15分）下車徒歩約15分



麒麟がくる 京都大河ドラマ館

大河ドラマ「麒麟がくる」の衣装や小道具、メイキング映像の上映など、大河ドラマの世界観を体験できるほか、「光秀は、何者か。」をテーマに、館限定の歴史展示も公開されている。併設の「光秀大河物産館」では光秀・大河ドラマ関連商品や地元特産品も販売。

京都府亀岡市追分町
サンガスタジアム by KYOCERA内特設会場
TEL.0771-55-9320
（入場券販売管理センター）
9:00～17:00（最終入館16:30、2020/1/11～2021/1/11開館）　無休
入場料 / 大人（高校生以上）600円・こども（小・中学生）300円
JR京都駅から亀岡駅（快速利用で約20分）下車徒歩すぐ

おすすめ周遊コース
JR亀岡駅 → 京都大河ドラマ館 → 亀岡市文化資料館 → 丹波亀山城跡 → 城下町散策 → 南郷公園 → JR亀岡駅

の京都　～明智光秀を知る旅へ～